

第18回市民ふれあいトークー地域力を活かすまちづくりー

日時 平成22年9月26日 10:00~11:30

場所 玉島北公民館

要約版

《市長》

今日は多くのみなさまに関心を持っていただきまして、この公民館にお越しいただきまして大変ありがたく思っております。短い時間でありましても最初に私の方から倉敷市の行政のこと、玉島地区の今の状況など少しお話を申し上げまして、その後みなさまからいろいろなご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

最初に今の倉敷市の状況、地域のことについてお話をさせていただきます。

まず今大変よく新聞などに出ておりますのが、倉敷の駅周辺のことだと思います。倉敷のチボリ公園が閉園をいたしまして、その跡の開発が決まったこと、一方で今年の年末でJRさんの今後の方針などがありまして、駅ビルの上のホテル部分を閉鎖されることなどのニュースが倉敷の地域の周りでは今起こっております。

倉敷駅の北のチボリの跡地につきましては、来年のクリスマスよりも前くらいの時期にはあそこに大きな新しい複合施設、商業施設、中四国で初めての大きなアウトレットモールなどが来ることになっております。地域の商業者のみなさまたちとぜひ協力して倉敷駅の南、倉敷市内全体に観光客の方たちが伺ってもらえるような政策を今イトーヨーカドーの方に一生懸命お願いしている状況です。

倉敷の全般的な状況ですが、人口が48万人になりまして、県内でも岡山市が政令市になって県と同格になりましたので、倉敷市が一番大きな市という行政区分になっております。経済状況はまだまだ厳しいわけですが、おかげさまで、地域のみなさん、水島のコンビナートの企業のみなさん方に聞きますと昨年と今比べて何とか少しずつではありますけれども戻ってきている状況と伺っております。一方で円高で輸出の面が非常に厳しくなっているということで、倉敷市の財政もまだまだ非常に厳しいわけですが、倉敷は岡山よりも借金の割合が今非常に低い状況で、なるべくお金がありましたら次の世代に借金を付け回さないように借金を返していく政策で今やっております。

大きな方向性としては子育てに力を入れること、安心して暮せるまちということで福祉、環境、防災の面に力を入れること、三つ目にこれがこれから地域の都市にとって大変必要だと思っているんですが、観光客の方に今日のテーマでもありますが、地域の魅力を発信して何とかこの倉敷市、玉島に目を向けていただけるようにしたいと思っていつも活動をしている状況です。

そして玉島の地区のお話ですが、私が玉島の北中学校区に来て一番最初に思いますのは、倉敷市の農業の非常に大切な大きな部分を担っていただいている地区であると思っております。特に桃につきましては全国有数の産地であり、去年までは東京の銀座に持って行ってPRをしておりましたが、今年は先日近くの神戸のポートピアの方に、玉島の桃と船穂のマスカット、連島の牛蒡なども持って行きまして農業のPRをして来ました。結構神戸の方たちは自分たちが食べている桃が岡山の桃だと知っていらっしゃる方も多かったのですが、東京の方などはまだまだ玉島の桃の良さをご存知ない方が多いと思っております。これからはしっかりPRをしていかないといけないと思っております。もちろんそれ以外の農業のこともみなさん一生懸命頑張って下さっており、本当にありがたいと思って

おります。

駅の周辺のことです。私が今年の夏に非常に注目したのは、玉島の夏のお祭りが駅の所の公園の方に移りまして、非常に盛大に行われたことが記憶に残っております。これまで南の大きな旧商店街の所でされていたわけですが、今回はこちらの方で行うということで非常に大規模になされました。他の地区からも見学に来られまして、駅の前の発展が非常に進んでいると関心を持って見られていたわけですが、来年度以降どちらの場所でされるかはまだ伺ってないわけですが、地域の発展の一つのまた大きなステップになると思っています。

そして今、建設を進めている所ですが、新しく玉島の公民館、労働会館、こちらの文化センターの方に移る歴史民俗海洋資料館の所を、来年度中には何とか複合施設を作りまして、多分24年度の4月くらいのオープンになるかと思っておりますが、今あります公共施設をなるべくそれぞれのいい所を活かしまして、一個ずつ建替えますと非常にお金も難しいので、一緒に合築いたしまして使いやすい形で整備をしている状況です。まだ名前が仮称の「玉島市民交流センター」となっていますが、玉島地区の特色を活かしまして、他の地区に比べて特に茶室の部分を大変大きくとっております。建設の時、現在の玉島文化センターの茶室を使っていらっしゃるみなさんにお話を伺いまして、玉島のお茶の文化を非常に大切に今後倉敷市としても発信していきたいという思いがございまして、玉島の新しいセンターの中で茶室の部分を大きな一つの核にしています。玉島の池田遙郎さん、坂田一男さんを顕彰する部屋を設けまして、絵や使われていた道具を見ていただけるものを整備をしている状況です。

私がこの玉島の地区で大変重要だと思っておりますことは、すぐ近くにあります作陽大学の存在です。もう一つ職業能力開発大学校もあるわけですが、市内に10校の大学、短期大学、高等教育機関があります。そのうち3つが新倉敷の駅前に集中していると。それで作陽大学、作陽短期大学のみなさんたちに音楽や保育、食育の面など非常に活力を持って活動をしていただいております。もっともっと地域や市民のみなさんとの交流を進めていければいいと思っております。今実は倉敷市の10校あります大学のそれぞれの特色を地域のみなさんに知っていただきたいというのを一生懸命進めております。市民のみなさんからアンケート調査やモニターに登録していただいている方に、市の10校ある大学の中で「自分がどれかに講座をとってみたい」、「参加をしたことがありますか」と聞きましたら、ほぼ7割以上の方が「行ったことがありません」、「近くにあっても交流がないんです」と言われる方がほとんどでした。この10ある大学をぜひ知ってもらいたいと、今年の夏と秋の10月にも市の生涯学習の拠点でありますライフパーク倉敷を今年はまず拠点としまして市内の10校の大学から先生に来てもらいまして、大学連携講座を、自分の大学はこういうことをやっているんですけど、またここで興味を持ってもらったら大学の公開講座などにも行っていただいたらどうかと大学と市民のみなさまとの交流を行っていきたく思っております。せっかく10ある倉敷市の大学の大きな地域の力を活かしていきたいと思っています。

今年10月末から11月7日まで国民文化祭が倉敷市内で大きな行事として行われます。玉島地区でも茶会やミュージカルとか芸術の関係のものを大変多く扱っていただくようになっていきます。多くの方が玉島にお越しになられますので、ぜひともみなさま気持ちよくお迎えをいただけてまた玉島に来たいと思っただけのようにご協力を賜りたいと思

っております。

ここからはみなさまから、今住んでいらっしゃる長尾、富田、穂井田の小学校区のお話、広くは良寛荘とか、今年は築港が352年目だと思いますけど玉島の港、歴史、農業のことなど、自分が地域で思っていること、こういう活動をしていて全市に広げたらどうかともっとこういう所をPRしたらどうかという話をいただけたら大変ありがたいと思っております。今ちょうど倉敷市の今後10年の総合計画を作っている所ですので、そのことにも反映をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

《参加者Aさん》

今市長がおっしゃった大学との連携は非常に大事なことだと思うんです。特に今、観光に力を入れているんですが、学生たちが倉敷のまちを知らないのが大半なんです。学生たちに玉島にいる4年間の間に玉島の良さ、玉島の歴史をぜひ知ってもらおうと、個人的に玉島のまちを案内したりいろんなことをしているんですが、やっぱり4年間学習をされて倉敷、玉島の良さを分かって、第二の故郷のイメージが残って、今度新婚旅行はここに行こうとなってもらえるようにしたらまちが潤うと思っております。大学生と地域の中でいかに連携していくか、大学の先生を呼ぶのも行政としてはそういうパターンが多いと思うんですが、市民として行うならやはりより多くの学生たちにこのまちの良さを知っていただいて、作陽大学だけでも相当な数がおられますし。ちなみに宣伝しますが、2月の最後の日曜日「音楽のたね」がありますので、ぜひ来てください。学生とのふれあいは大切だと思います。

今地域力という中で一番大事なのはやはり隣近所がよくコミュニケーションを図ること、コミュニケーションを図ることによってお互い手をつなぎ、助け合うことができるんじゃないかと。コミュニケーションをどう取るかは、いろんなことを企画して集まって語り合うことが一番大切だと思うんです。富田地区はそういうことが非常に活発にされておりますが、倉敷の玉島のちょっと南の方に行きますと、隣は何をしている人ぞという環境なんです。今大きな社会問題になっておりますが、百何歳という生存してない方がおられるのもコミュニケーションが足りないからだと思うんです。そんなことを痛感して今回私の町内は集会所の建て直しをしました。倉敷市の補助をいただきしておるんですが、やはり場所があつてのコミュニケーションなんです。これがどう言っても地域力のまず第一歩じゃないかと思うんです。集まる所があつて、集まる度にいろんな企画をして、お互いに意見交換をして、行政の方のご協力をいただいて、いろんな出前講座がたくさん企画されていますので、どんどん利用して知識もしっかり入れていくことがこれからの社会には大事ではないかと思っています。最後に、集会所を作ることはご協力いただいでできるんですが、地域の中でたくさんある集会所を立て直すことはなかなか大変なんです。アドバイスなり積極的に行政として行っていただいてより地域住民が集えるような場所づくりを積極的にお願ひしたいと思っています。

《市長》

地域力というのはコミュニケーションが一番重要だということ、それから最初に言っていただいた地域の大学生のみなさんたちにもっと知ってもらいたいということ、私も本当にその通りだと思います。

昨日、今日の山陽新聞にも載っていたかと思うんですが、川崎医療福祉大学の創立20周年記念の会がありました。そこでも川崎医療福祉大学学生さんたちがもちろん勉強が大変忙しいわけなんですけど、なかなか松島とか倉敷の方の地区の行事に参加する機会がやはりまだまだ少ないという話が出まして、その学生さんたちが中庄の駅の周りとか倉敷の方に来ていただければもっとまちが発展するんじゃないかという意見が結構出ていました。ここ玉島の地区は何ととっても作陽大学が非常に大きな核になると思いますので、期待をしたいと思っています。ちょっとお伺いしたいんですけど、作陽大学さんのいろんな講座や行事にこれまで参加されたことのある方どれくらいいらっしゃいますでしょうか。

だいたい半分くらいのみなさんが参加をさせていただいているんですね。やっぱり他の地区に比べると近いだけあって割合が高いと思います。作陽大学、特に西日本では非常に有名な大学ですので、その大学をわれわれももっと大切に思って市民のみなさんに知ってもらいたいと思いますし、学生さんたちにも倉敷のまちにもっと出てきてもらいたいと思うんですが、今日作陽大学の学生さんが何人か来ていると聞いたんですけど、玉島のまちについて自分がこう思っているとか、もっとこうできたらいいとか何か発表していただけたらありがたいと思うんですけど。地域の人たちとの交流とか・・・。

《学生Aさん》

私はくらしき作陽大学音楽療法学科の学生です。音楽の件でAさんにお世話になっていて演奏会の際にパンフレットにお店の広告を出していただいて演奏会を運営していくんですけど、それだけでも玉島の方にお世話になっていて、私は玉島の出身ではないですけど大学に来て玉島に住んでいてとてもいい地域だと思っています。

《学生Bさん》

音楽学部では玉島の地域の方と交流があると思うんですが、私は食文化学部であまり地域と交流する機会がありません。なので、今日この会に参加させていただいて食文化学部にも地域の方ともっとふれあえる機会を作れたらいいと思いました。

《学生Cさん》

音楽学部音楽学科でピアノを普段勉強しているんですけど、吹奏楽のサークルに入っていて、ちょうど3日前にも演奏会がありまして、地域の方がたくさん来てくださってすごい温かい地域だと思いました。大学周辺にはあまりお店とかが無くて学生はなかなか楽しめないの、もっと栄えたらいいと思いました。

《市長》

演奏会の時とかはPRはどうやってやられるんですか。

《学生Cさん》

広告の掲載をお願いしたり、玉島テレビをお願いしたり、地域のお店にポスターを貼らせていただいたりしています。倉敷市教育委員会にも。

《市長》

玉島地区以外の水島とか倉敷の人たちも見に来られることも多いですか。

《学生Cさん》

玉島の方が一番多いです。

《学生Cさん》

食産業学科の学生Cと申します。食産業学科は食品開発の方を中心にしているので、今年だったら夏祭りで駅の南の方で倉敷作陽のブースを出してもらったんです。依頼があった感じなので、一応交流としてはあるにはあるんですけど、やっぱり学校が市民にどう商品開発、私の学科の面ではそうなるんですけど、ふれあう形が少ないとっていて、大学から市に向けての働きが少ないと思っています。

《市長》

作陽大学とか倉敷市の職業能力開発大学校のことは、ご存知の方も多いと思います。職業能力開発大学校は実は一時期閉校するという国の方針が出まして、今の手に職をしっかり付けられない時代になると、倉敷市が国に陳情を出しまして今の所なんとか持っている状況なんですけど、今後仕分けでどうなるかわからない状況かと思うんです。なのでどういう形で手に職を、若者の技術をつけてもらえる所が残るように頑張りたいと思っています。職業能力開発大学校と作陽大学のことにに関して何かこんなことがあったらいいというご意見があればと思うんですけどいかがでしょうか。

《参加者Bさん》

今作陽大学の学生さんで、食文化学部の方のお話がありましたけど、作陽大学の食文化学部にはボランティア部というのがあると思います。20名弱くらいで、私たちはボランティア活動の「花あふれるまち玉島推進会議」というのを、作陽大学、長尾小学校を中心に新倉敷北口をずっと草を取ったり花を植えたりと活動をしています。作陽大学のボランティア部の方がかれこれ7年くらいは来られています。その学生さんたちは九州とか広島とかいろいろいらっしゃるんですけど、今までそれぞれに卒業されて行きました。卒業する時には地域のおじさんやおばさんたちとも交流ができて、こういう所へ就職すると挨拶に来てくれて交流があるんです。たまたま最初は先生が推進会議に参加してボランティア部を紹介してくれたんですけど、今は部長さんが順次変わっていく中で数は少ないんですけど、毎月第3日曜日の午前8時から10時か、冬場は午前9時から11時、第3日曜日に長尾小学校に集まって活動をしています。いろんな話し合いをしますし、作業をしながらやるんですけど年に1回は花見例会と題しまして公民館を借りて食事会もやって、いつも終わったら一緒に昼飯を食べながら話したりしております。われわれの団体は確かに歳を取っている方が多いですが、今子供会も参加して地域ぐるみの小さい子からおじいさん、おばあさんまでできる方は参加してやっていますので、学生さんもボランティア部入っていただいて、もっともっとみなさんにPRをしていただきたいです。

《市長》

長尾小学校はすぐ前ですから、特に地域の活動もやりやすいでしょうし。いろいろ常に

されていらっしゃる所が多いんですね。昨日川崎（福祉）大学で出た意見では市内に10校の大学があるんですけども、大学同士の交流があまりないという話がありました。川大だったら松島の方で、作陽だったら新倉敷の駅ということで、学生さんたちがまちの中を動いたりすれば、新倉敷の駅の所や倉敷の方で飲み会や一緒にご飯でも食べましょうとか、そういうことがもっとできればいいという意見が出まして、大学連携講座で市民のみなさまに大学のことを知っていただくことに加え、学生さんたちがもっと市内をいろいろ見たり、まず倉敷のことを知ってもらっていろいろ周って倉敷の地域をいい地域だと思ってもらって、自分の故郷や就職先で倉敷のファンになってもらいたい気が非常にしましたので、そういう活動を始め、地域のみなさんと一緒にしたいと思いました。

《参加者Cさん》

10校の交流を進めるにはどうするか単純に思いついたんですが、何かの競技を設けて市長杯というのを作られたらいかがですか。大学間の競争のようなものを設けたら交流が進むんじゃないかと思います。

《参加者Dさん》

地域の公民館が北とか西とか東とかありますけど、これはみなさんがいろいろ研修する場とっていて非常にいいと思います。

今日はその中の玉島文化センターの展示室について。料金が非常に高いんです。例を言いますと、元市役所の所にある倉敷市立美術館。一階に広い展示室があり、A・Bと二つに仕切ってできるんですけど、そこを使う場合に一週間借りたら47,775円かかります。それに比較して玉島文化センターの展示室を一週間借りたら110,250円します。面積は倉敷市（立美術館）の方が広いです。正式に測っていませんけどもざっと見たとこで倉敷市立美術館の一階の展示室は玉島の倍くらいあります。だいたい考えたら4倍か5倍です。玉島のホールも似たようなものじゃないかと思います。交流センターを造る前に文化センター展示室をみんなに無料で開放したらどうですか。無料でなくても電気代、水道代、維持費、これくらいでいいんじゃないかと。

《市長》

維持費だけで多分その額の3倍くらいかかるとは思いますが、額がいずれにしろ高いのですね。

《参加者Dさん》

玉島文化センターは普通9時から17時で1日あたりが7,350円です。基本料金が冷房が50パーセントで、基本の部屋代に50%、暖房の場合は40パーセントなんです。1日展示室を借りたら10,500円かかります。玉島文化センターを例にとったんですが、倉敷市の真ん中の方に文化施設が集中して玉島、児島、水島、真備がどんどん冷や飯を食うとるのではないですか。文化センターが安かったら助かりますので、市長が采配できるのであれば交流センターはまだ先の話ですから即、行ってほしい。

《市長》

展示室は利用状況は少ないんですね。

《参加者Dさん》

少ないです。(展示室を)使っているのは骨董品、美術品、貴金属。商売人が使っていて、商売人の場合は基本料金が倍なんです。一個貴金属売ったらいくらになるかわかります？想像して分かると思いますけど、そういう料金です。もっと市民に開放しないとイケないです。

《市長》

今すぐ調べるわけにはいかないんですけど、展示室の料金は市長が勝手に決めていいものではないので、一応市議会の条例で決まっているんです。ただおっしゃるようにその展示室や建物ができた時の状況によって値段が倉敷のぶんと文化センターのぶんと今度できる真備のぶんと料金が多分少し違うような、だんだんずれてきていると私も思っているんです。なかなか文化センターだけ先にというのは難しいんですが、もっと使いやすいように、ただ維持費も非常にかかりますので、市民のみなさんにある程度のご負担はお願いしないといけないと思うんですが、さっきの商売の方との値段の差の所ももっと検討しないといけないと思いました。いい返事がすぐにはできないかと思うんですが。

《参加者Dさん》

岡山に県の天神山文化プラザというのがあります。ここの値段は市立美術館と大差ありません。市立美術館は倉敷市民に対しては冷暖房費無料ですが、玉島の展示室は50パーセントです、使用料金。なんでこういうことが同じ市民でありながらあるのかということです。ちょこちょこ行って見るんですけど、展示室やホールに何にも使っていないのにいつも4、5人常駐している。仕事は何かあるんでしょうけど、仕事が無いのにそんなにいる必要はないので。

《市長》

いずれにしても維持管理経費をなるべく下げていけるように頑張りたいとは思っております。それによって一つは使用料を減らすことも可能になってくると思いますので、今でも最低の人数でしていただいているはずなんですけど、そういうお話もいただいておりますので、もっと工夫できないかとか頑張っていきたいと思っております。

《参加者Eさん》

4点お願いしたいと思っております。

第1点は公民館をより使いやすくするために2年前にもお願いしたんですが、玉島北公民館にエレベーターを設置してほしい。踊り場から行けるトイレを設置してほしい。15日にも100人集まって交流会をしたんですけど、おんぶして上がったということだったので検討していただきたいと思っております。倉敷市内では公民館にエレベーターは無いらしいんですが、ご検討をお願いしたい。

2点目は、富地区が今30パーセントを越す高齢化なんです。前はバスが通っていたんですが今はバスが通っていません。店もありませんし出前の店も来ません。魚だけ売って

いるんですけど。富と池畝と上郷で組織を作って、来年4月をめどに乗り合いタクシーの計画をしていますので、どうぞよろしくお願い致します。

3番目は倉敷市、去年から倉敷市観光客が555万人で116万人大幅減という、かたや一昨日、境港がたった800メートルに、1日7万人JRの2300万人に匹敵する人数が来ていると。昨日で終わりましたので減ると思いますが、チボリがなくてもみなさんの知恵で、「玉島をよくする会」というのがございまして、玉島に観光客をと今、活動しているのですが、昨年度は32・9パーセント減の5万1千人。目標20万人なので大きなショックなんですけど、その中に良寛さんをもっともっとPRしてもらいたいです。円通寺に参りまして、駐車場からは若者しか上がれないような非常に急で長い階段です。円通寺を歩きますとトイレが二箇所ありますが、水洗じゃありません。上のトイレにせっかく身障者トイレがありますが、ドアを開けると倉庫になっています。今度県外からも大勢来られるわけですから、非常に倉敷の恥でございますので、早急にその改善をお願いしたいと思います。市の方へお願いに行くと3年待てば水洗になるからと言われたんですが、水洗は下の駐車場と良寛荘だけなんです。それを待っている間に観光客がいっぱい来ると思いますので、合併浄化槽とかをぜひ考えていただきたいと思います。

そして今観光に関して、ぜひ良寛さんを中心として活性化するチームを作ってください。一案としまして駅前にシャッター通りがある所へ良寛さんコーナーを作って良寛さんに関する資料とかを置いてはどうかと思います。

その次が7月の13日から19日まで市立美術館で展覧会をしたんですが、みなさん車でなかなか入れないと言われます。今倉敷中央病院が3箇所、2段式をやっています。倉敷中央病院の東側の台数が下が63台で上が60台です。市立美術館の所は62台です。これが上に上がる時には6台減りますが、109台停められます。そして47増えますのでご検討お願いしたいと思います。

《市長》

公民館でエレベーターが付いている所は今言ってくださったように、今度できる市民交流センターのような大きな所にしか今の所付けられていない状況なんですけど、今後の長寿社会の中でいろんな地区を回ってお話を伺う中でいっぺんに全部エレベーターをというのは難しいかとは思いますが、今後対策をしていければいいとは思っているんです。ただお金との相談もありますし、古い順番とかいろいろありますし、どういう形で付けていけるかはまだこれから検討しないといけないと思いますけども、バリアフリーの時代に向けてもっと何か対策を取らないといけないと思っております。

それから乗り合いタクシーの件につきましてはご検討いただきまして、お話がありましたらぜひ使っていただけるように、市からの補助の面とか検討させていただきますので、わりと最近お話をしに来られるような予定ですか。

《参加者Eさん》

来年4月から。

《市長》

来年4月から使えるようにと検討されているんですね。市の交通の方とも相談してみた

いと思います。

それから観光のことで先日も倉敷市の観光客がチボリ公園の閉園が一番大きな理由ですけど、116万人くらい減ったと出ておりました。かたや県北の蒜山のB級グルメのぶんで随分人が増えたりと、倉敷もB級を取り入れたらどうかと言うと、倉敷市ではB級ではなくてA級でみなさんに結構言われることもありまして。この前玉島の夏祭りの時に今回の取り組みとしてB級グルメじゃないですけど、玉島のいろんな特有の食べ物のテントを出していただいて非常にいい取り組みだと思ひまして、そういう中からいいものが出てくればいいと思っています。食べ物の面や音楽の面、私ももっと良寛さんの面、玉島の港町の所、仲買町とか古くからある所、それから「ALWAYS三丁目の夕日」の所、そして今度水門の古い部分を撤去しましてもっと人に来てもらいやすいようなものを県と一緒に、駐車場もほとんどないのでもっと整備したりして羽黒山一帯の所にも人が来てもらえるようにやっていきたいと思っています。玉島の観光の面で良寛さんとか玉島の観光でもっとPRした方がいい所やご意見があればお願いします。

《参加者Fさん》

観光のことで、私がここに結婚して来た時には通り町がものすごく賑やかだったんです。今はシャッター通りで寂しくなっているんですけど、滋賀県の長浜町に行く距離は通り町くらいのもんですけど、若者が多いんです。秀吉が建てたお城、黒壁のまち、ガラス館があって、大勢の若者が寄るんです。大きなお祭りが玉島の乙島にあります。良寛さんもあるし、ここは源平合戦の舞台にもなっているし、三島中洲の方が東京の二松学舎大を創立されたそうで、歴史上では長浜に負けたいと思います。食べ物も郷土料理のふなめし、ままかり寿司。果物もマスカット、ピオーネ、桃。それから芸科大があるので吹きガラスもあるし、古谷信三さんの息子さんもやっておられるし、備前焼もあります。通り町のイベントの時には作陽音大の学生さんにも手伝ってもらって、交通も新幹線も高速もあるし、絶対長浜の町には負けたいと思います。若い人はガラス好きですし、絶対活性化できると思います。

《参加者Eさん》

今日はビデオを持ってきたんです。岡山県良寛会が作成しました、「良寛さんの生涯」という1時間10分のアニメ映画があるんです。何とか頑張ってNHKのテレビに放映していただくように運動をしていただきたい。今市内の小学校には全部配っているんですけど。

《市長》

良寛さん今生誕何年くらいですか。

《参加者》

250年を過ぎたくらいです。

《市長》

ちょっと違うんですけど、今年は奈良の平城京の遷都1300年で、その関係で倉敷の真備の吉備の真備さんのことをNHKでも取り上げてくださって、大仏開眼というドラマ

にもなって主人公が吉備の真備さんです。そういうこともあって、良寛さんはもともと信越の方の新潟のご出身ということで、一つ考えているのがそちらの方とタイアップして、何かの記念じゃないですが良寛さんを取り上げてもらう時に、こっちで何十年か修行をされたということで両方とも取り上げてもらえることができないかと思っているんです。その時にそのまま使ってもらえるか分からないですが、玉島に取材に来てもらう中で玉島のことをじっくり放映してもらえるようにできればと思いました。

《参加者》

インターネットで1泊2日の観光コースを出したら倉敷が出ないんです。1泊2日コースで、歴史編とかおいしい食事編とか種類によって分けているんです。1泊2日コースで倉敷観光が出るようにできればと思います。

《市長》

私もそう思います。やっぱり泊まっていただくには食べ物が大変重要でして、玉島の名物の食べ物、乙島のしゃことか、食育の関係の方で何かいいものがあればアイデアをと思うんですけど、食べ物がキーワードになるというのは泊まっていただく際に非常に重要でして、倉敷地区だったら祭りずしを今一生懸命売出しています。お客さん以外にいろいろ開発されたりしているんですけど、作陽大学の食分化学部に開発してもらったりできないかと思いました。観光の倉敷市の各地区で児島に行けば瀬戸大橋もありますし、見る所は市内で全部何箇所か見てもらえれば1泊、2泊泊まってもらえると思いますし、そうできないかと思います。長浜町に負けられないようにもっと頑張りたいと思います。

《参加者さん》

今農協のピーチセンターの市道が法面から2メートルくらい草で道が塞がっているんです。しょうっちゅう刈るんですけど、市は予算がないと言う。夏は大きなトラックがピーチセンターに入ります。それを市の方がいくらか予算を出していただいて。もう一点は下水道が家の近くまで来ていますが、目先まで来てまだできないので緊急にお願いします。

《玉島支所長》

帰りに住宅地図を持って来ていますから、場所を教えてください。

《参加者さん》

一番は6月の初めから夏が終るくらいまで陶の方から下りてくる人と玉島へ出るのとカーブになっていますので多いです。葎が生えてきて今年は4回くらい刈ったんです。昔は土木の人が全員で刈っていたんですが、今は全然です。国道筋は綺麗になっているけど山手に行くほど下火になって。市の人が2、3人来て池の周りを片付けてくれたら助かると思うんです。

《市長》

後で場所をお願いします。安全が第一だと思いますので。下水道の方はなるべく早くし普及率が上がるように頑張ります。

《参加者さん》

市民活動を20年ほどさせていただいております。

この玉島北地区は全国でも有名な清水白桃や船穂にはマスカットがあり、お米とか農産物が豊かなんですけど、倉敷がもっと全国や世界に名を馳せていくように、そのためのプロモーションとしてやはりまちの魅力や市の誇っている魅力をもっと発信していくには、所ジョージさんの番組の「笑ってこらえて」のダーツの旅というのがあると思うんですけど、例えば玉島に矢が刺さったとして来た時に、地元の人がここは良寛さんが修行したまちなんだよとか、地元にいる人が誇りに思えることを明るい顔で答えられるような48万人の市民が思えるまちづくりができるの外に伝わっていくんじゃないかといつも思いながら活動させていただいております。

今年4月に高橋大輔くんが素晴らしい活躍をして世界一になってパレードをしていただきました。いつも市長さんと高橋くんのパレードされた時の写真を、2万5千人倉敷の駅前を人が埋め尽くした写真を持っております。もちろん玉島、船穂、真備、児島、倉敷とたくさんの素晴らしい所があるんですけど、来年の3月には東京で世界選手権で二連覇を頑張ろうと思っているアスリートの高橋くん、文化でも山部くんとかピアニストの松本さん、素晴らしい方が倉敷におられるので、スポーツ、文化、観光振興大使を著名な方々に、倉敷地元を跳ね上げるために力を貸してくれないかと市の方からうまくお願いをしていただいて市内にある各地区の特産、素晴らしい景観とか、私は玉島の北中の建物の新幹線から見て素晴らしいと思います。

《市長》

玉島北中の建物は中学校の中でも特色があり、全国の中でも非常に珍しいらしいですね。

《参加者さん》

新幹線の車窓から見てそう思われる全国の方がいらっしゃるって聞いております。今、大きな怪我から復活した高橋大輔くんは倉敷の救世主や広告塔にきつとっていただけたらと思うので、ぜひ玉島も含め地域力、特産物素晴らしい所を世界や全国に向けて発信する広報プロモーションのことを是非何か画期的な手を打っていただきたいと思っております。

《市長》

スポーツ、文化、観光を通じた、高橋大輔くん、ピアノの松本和将さん、太鼓の山部兄弟とか非常に有名な方がいらっしゃるって、観光大使にお願いしたらどうかという話はいい考えだと思いました。観光大使とかは、最近あまりそちらの方に目が向いていなかったのも事実だと思います。今よくお願いしているのは星野仙一さんに、夜の11時からのニュースゼロに出られているので、その時折があったら倉敷出身だと言ってくださいと何回もお願いをしています。大輔くんには倉敷出身だとなるべく言うてもらうようお願いしていますけど、観光大使とか文化何とか大使とかを検討してみたいと思いました。今までお願いしているのをよく調べてからやっていきたいと思っています。

《学生Cさん》

車でくらしき作陽に入るまでの住宅街の前の市道の白線が消えかかっています、作陽大学の敷地に入る頃には白線が全然見えないんです。一応敷地に入ったら作陽の部分なので、線があるんですが、市道には白線がないので、安全面で危なくて、境目の所で衝突事故が起きていたらしく、以前から危ないと思っていたので白線を描いてほしいと思います。

《市長》

帰りに場所を地図で教えていただいてもいいでしょうか。

《参加者さん》

この地域は桃の優秀な産地ですが、その桃畑が放置竹林によって侵食されております。あそこの山を見ていただいたら分かると思いますが、木が高い所と低い所があるんです。低い所はもともとは畑だったんですが、今竹林がずっと押し寄せていっています。地主さんが元気なうちはああならないんですが、年老いて今の状態があちこちです。竹はチップとかペレットにしていい燃料になるんです。これからの循環型社会を考えた時にこれを有効に使う方法が促進されるような施策を講じていただきたいと思います。

《市長》

真備地区でも真備は竹の里ということで、一方で放置竹林のことが非常に問題になっておりまして、いろいろご提案をいただいております。私有地はなかなか難しい面があるんですが、やれない部分も工夫をすれば協働事業などでできる場合もあるのでしっかり検討をしていきたいと思っています。個別ではなくて全般的なお話としてありがとうございます。

《参加者Aさん》

観光ということで、外国からお客さんに来ていただくことが一番いいんですが、日本から一番近い韓国との交流を非常に頻繁にやっているんですが、韓国の人が岡山を全く知らないんです。だいたい2、3ヶ月に一回か私のところに観光で来られるんですが、特に倉敷はいい、来てみてよかったと評価いただいているということなので倉敷で観光の力として、中国の大変な問題を抱えているから難しいんですけど、韓国から来てもらえるんじゃないかと。できたら岡山空港から釜山空港までの便ができたら釜山の方は私は非常に繋がりが強いので、たくさん来てもらえるとっておりますので、ぜひ力を貸してください。

《市長》

ぜひ外国人観光客の方の誘致をしっかりと頑張りたいと思います。

《参加者さん》

市長さんに一言お礼とお願いをさせていただきたいと思います。いろいろ銀座とか神戸でも桃のPRを。この体育館の屋根を見てください。桃色です。地域から発信することで、耐震補強をした時に桃色にさせていただきました。青少年を育てる会の帽子のマークも桃です。私どものコミュニティの関係で地区社協の発行をしております「桃花（はな）

だより」も勝手に「桃の花」と書いて地域に出しております。作陽大学の学生さんが来られてますけど、JA農協さんで作陽大学の先生が桃の食材を使っている料理をしてくれました。北中の横の農協の会場で作陽大学のお世話になった先生がおられますし、私どもの富田の夏祭りに先輩のみなさんに来ていただいて演奏をしていただきました。厚く御礼申し上げます。それから市長さん、消防機庫をいち早く建替えていただきました。

《市長》

橋の上にあった、全国唯一の消防機庫車ですから何とかしないとイケないと思って。

《参加者さん》

危険な箇所です地元の方が交通事故で亡くなられたと思います。すぐにあれを倒したとお聞きしております。ありがとうございます。今日参加しているみなさんは行政にお願いすることと自分たちのことは市の予算がないというから市長さんも大変だったと思います。今日参加している人は自分たちのことは自分たちでしょうと、頑張る方ばかりだと思いません。

少しお金のいることですが、ここは駐車場が物凄く少ないんです。講座生の方が大変困っているんです。今日は日曜日ですので、小学校の教職員の駐車場とその東側もお借りしております。この北には別館があります。もう耐震はなく東南海の地震が来たら確実に倒れます。駐車場に困っているので、あの建物を倒して、是非駐車場を確保できるようにしていただければありがたいと思います。私どもの地域のみなさんが北公民館は長尾・穂井田の方が一緒に使うということで出来ています。旧の富田公民館の跡にこの北公民館ができて、富田のみなさんが使い勝手がよくて快適にいつでも使える状態ですが、長尾は新しく改築していますが、講座生の方みなさんいっぱいここに来ます。帰りに予定表を見てください。お金は少しかかるかもしれませんが、何十億もかかるわけではありませんので、2、3億あればできるかと思っておりますのでぜひ、すぐとは言いません。ぜひ計画に入れていただいて向こうのセンターが完成した後ぐらいにぜひお願い致します。

《市長》

駐車場のことは今言っていたようなアイデアを拝見してどこの公民館も駐車場が少ないというお話を伺っています。ただ新しく土地を買うのが難しいので、その公民館の所の事情でうまくいくことがあればうまくできるかも知れないし、ない場合は難しいかも知れないですけど、また個別に検討させていただきたいと思います。今度できます玉島の市民交流センターに何とか玉島の特色を出したいと市の建築の方で考えまして、箱のような四角い建物ばかりじゃなくお金は大してかかっているわけじゃないんですが、大きなホールを全体じゃないんですが、桃のような球面をホールの少し外に出る所を丸い感じにしておりまして、もう一つ屋根の所を高瀬舟のさっきお話が出ましたが、玉島の港も非常に古い歴史があるということで波のような形に屋根をするようにしまして、ここは玉島の非常に歴史ある、農業の桃の盛んな町並みのようなものを、パッと見てそれが分かるかは分からないんですけど、玉島の港と桃のことを思いに込めたつもりで作っておりますので、できた時にはそういう感じで見ただけならありがたいと思います。

時間を超過しまして大変ありがとうございました。今日は本当に玉島の地域のみなさん

のいろんなアイデアをいただきまして、これからの倉敷の行政に大変参考になると思えました。市議会議員の先生たちとも相談をしましてしっかり取り組みをしていきたいと思えます。今日は本当に日曜日のお忙しい中どうもありがとうございました。